

## 学術講演会プログラム

10月11日

### Session 1 (座長： 羽田麻美・山田努)

- 13:10-13:30 O-1： 北海道伊達市大滝区百畳敷洞窟における氷筍の成長・融解過程，大滝の気温データを用いた氷筍の成長予測および洞窟内の湧水の化学成分  
亀田貴雄・佐藤夏巳・牛塚貴博（北見工業大学），酒井史明（PACIFICA），橋本強志（無所属），駒井克昭（北見工業大学）
- 13:30-13:50 O-2： スカラップ形態の数値化と古流速の見積もり  
石原与四郎（福岡大学理学部）
- 13:50-14:10 O-3： 沖縄県・玉泉洞の洞窟微気象と石筍成長速度  
石原与四郎・松地遼太郎（福岡大学理学部）・大岡素平（おきなわワールド）
- 14:10-14:30 O-4： 埋没化石骨フッ素濃度と化石骨周辺の地下水流動  
吉村和久（九大 RI センター）・渡辺修（(同) 水文企画）
- 14:30-14:50 O-5： 与論島における溶食凹地の形状と断層との関係  
桑原香澄（全農 長崎県本部）・羽田麻美（琉球大）
- 14:50-15:10 休憩

### Session 2 (座長： 多武想太・横田角光)

- 15:10-15:30 O-6： 大流速湧水におけるロボット探査について

眞部広紀・長嶋豊（佐世保高専）・堀井樹・バルデスラジャン（(株)Aero Flex）・高嶋洋（第一工科大）

15:30-15:50 O-7： 穴の原溶岩洞穴における 3D 測量と洞口周辺の物理探査

眞部広紀（佐世保高専）・藤井雄基（岡山大大学院）・堀井樹（(株)Aero Flex）・城森明（(有)ネオサイエンス）

15:50-16:10 O-8： 洞窟探査ロボット開発における要素技術とその一般化について

堀井樹（(株)AeroFlex）・眞部広紀（佐世保高専）

16:10-16:30 O-9： ウズベキスタン極西ギッサール洞窟探検偵察行報告

小林知風(法政大学探検部、東京スペレオクラブ)・富澤りの（法政大学探検部、東京スペレオクラブ）・嘉川寛大（法政大学探検部）

16:30-16:50 O-10： インドネシアハルマヘラ島における新洞報告

久保結花・縣智丈・岡晃子・荒木浩介・菅原真美（J.E.T(Japan Exploration Team)）・山本健太朗（無所属）

16:50-17:10 O-11： 日本の竪穴技術の歴史～今、ラダーは生きているのか

水島明夫（洞穴科学調査会）・多武想太（東京スペレオクラブ）

10 月 12 日

Poster Session

12:30-13:30 P-1： 鷹丸尾溶岩流柏原樹型群にみる溶岩再溶融温度の推定

本多力(NPO 法人火山洞窟学会)

P-2： 米国カスケード山系セントヘレンズ火山, ニューベリー火山の溶岩チューブ

洞窟形状による溶岩流の温度,粘性係数の推定

本多力(NPO 法人火山洞窟学会)

P-3： 岩手県久慈市で発見した氷結誘導型洞穴成炭酸塩鉱物

山田努(東北大・院・理)

### Session 3 (座長： 新部一太郎)

13:30-13:50 O-12： LGM 以降のユビナガコウモリの分布変遷を辿る

秋山礼・兼祐翔・後藤晋・福井大(東京大学大学院農学生命科学研究科)

13:50-14:10 O-13： 複合的手法による北海道の海蝕洞の記載と測量

伊藤雄氣(北大探検部・東京スペレオクラブ・北大・院・理)・赤嶺直弥・工藤隆太郎・阿部泰地・小倉彬嵩・青木銀・木嶋理乃・神藏未和・橋本育和・石黒竣太・菅真太郎(北大探検部)

14:10-14:30 O-14： 洞窟活動における横紋筋融解症

長谷川幸祐(荏原ホームケアクリニック, NPO 法人火山洞窟学会)・長谷川春日(NPO 法人火山洞窟学会)

14:30-14:50 O-15： OnStation の Windows10/11 対応と導入支援

藤井雄基(うきぐもケイピングクラブ)

14:50-15:10 O-16： 洞窟地震学(Speleoseismology)の現状と日本における適用可能性

山田努(東北大・院・理)

15:10-15:30 休憩

Session 4 (座長： 石原与四郎)

15:30-15:50 O-17： 自然に関する知の共有と保存のための中核施設：博物館および博物展示施設について

太田泰弘（北九州市立自然史・歴史博物館）

15:50-16:10 O-18： 玉泉洞におけるケイビングツアー －39 年間の変遷－

大岡素平（株式会社南都）

16:10-16:30 O-19： 秋吉台におけるケイビング活動の法的手続き －現状と課題－

藤川将之（秋吉台科学博物館）

16:30-16:50 O-20： 山口大学洞穴研究会 65 年の軌跡と今後の展望

横田角光（山口ケイビングクラブ, 帰水会）